

令和3年度 群馬大学地域貢献シンポジウム

# オンライン教育が拓く

# 新しい学びの可能性

2022.3/5 SAT 13:00 > 15:00 in Zoom 手話通訳・文字通訳あり オンライン開催

本シンポジウムでは、コロナ禍での「やむを得ずオンライン」ではなく、新しい学びのあり方を切り拓く可能性のある方法としてのオンライン教育に注目し、学校教育の実践を踏まえつつ、来たるべき教育の将来像を関係者間で共有して描いていきます。

## ■主催

群馬大学 地域連携推進室 / 共同教育学部

## ■お問い合わせ

国立大学法人群馬大学共同教育学部総務係

TEL. 027-220-7204

参加費  
無料

対象

一般市民・学生・  
教育関係者

## Symposiast

シンポジスト

- 井上 諭一 氏 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官
- 関根 恵一 氏 上野村立上野中学校 校長
- 中野 聡子 氏 群馬大学共同教育学部 / 手話サポーター養成プロジェクト室 准教授
- 海老沢 穰 氏 一般社団法人SOZO.Perspective代表理事、新渡戸文化小学校ICTデザイナー、前東京都立石神井特別支援学校指導教諭

## Facilitator

ファシリテーター

- 霜田 浩信 群馬大学共同教育学部副学部長

企画者

山田 敏幸

群馬大学共同教育学部  
講師

金澤 貴之

群馬大学共同教育学部  
教授

## 申込方法

事前に右記のQRコードまたはURLよりお申し込みください。  
ZoomのID等をメールにてご連絡いたします。

<https://forms.gle/g6eois2Wueasy8eGA>

締切: 2022年2月28日(月)



# Symposiast

# Profile

— シンポジストプロフィール —

## 関根 恵一氏

「上野村と協働したオンライン教育の推進」

上野村立上野中学校 校長

群馬大学教育学部附属養護学校に10年勤務。藤岡市教育委員会指導主事等を経て、現職。

新型コロナウイルスの影響による全国一斉臨時休業となった2020年4月、5月。上野中学校では、ウェブ会議システムを利用し、双方向での授業を2週間実施した。当時、県内多くの市町村は、インターネット環境の整備が課題となり、オンライン授業の導入が滞っていた。自然災害対策として整備されていたケーブルテレビやインターネット環境を活用することで、本校では「生徒全員の学びを止めない」取り組みができた。この経験を生かし、今後想定されるコロナ第6波、第7波、インフルエンザ流行、積雪や土砂災害等による臨時休業に上野村と協働して備えたい。

## 海老沢 穰氏

「これからのテクノロジーは特別支援教育をどう変えるか」

一般社団法人 SOZO.Perspective 代表理事、新渡戸文化小学校 ICT デザイナー、前東京都立石神井特別支援学校指導教諭

特別支援学校の教員を25年務め、アーティストとのコラボレーションやICTの積極的な活用を行ない、子どもたちのアイデアや表現を引き出す授業実践に取り組んだ。2017年にAppleのテクノロジーを活用した教育分野のイノベーターであるApple Distinguished Educatorに認定された。東京都教育委員会2019年度職員表彰受賞。2021年4月に一般社団法人SOZO.Perspectiveを設立し、ICTを活用した新たな授業デザインの提案を行なっている。NPO法人芸術家と子どもたちアドバイザー、NHK for School番組委員、杉並区立桃井第三小学校学校運営協議会委員。

## 井上 諭一氏

「Society5.0：テクノロジーが個の能力を解き放つ！」

内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官

1991年の科学技術庁入庁以来、科学技術分野を中心に行政官を務める。これまで、日本の地震調査研究体制の整備、スーパーコンピュータ「京」の開発、海洋資源調査システムの開発、給付型奨学金の創設などに従事。2016-2018年には障害のある学生の支援を担当。現在は大学ファンドの構築、ムーンショット型研究開発の推進、AI戦略の策定などを担当。G7科学技術大臣会合シエルパ。

## 中野 聡子氏

「テクノロジーと人との協働が切り拓く新時代の手話通訳教育」

群馬大学共同教育学部/  
手話サポーター養成プロジェクト室 准教授

5歳の時に失聴。筑波大学大学院心身障害学研究科修了。博士(心身障害学)。手話言語の認知/言語発達における研究では、ろう者として日本初の博士号取得となった。2011年に地方の大学に赴任して業務遂行に必要な手話通訳者がなかなか確保できないという、手話通訳者の高齢化、人材不足、地域格差の問題に直面したことをきっかけに、手話通訳者養成に関わる教育・研究に着手。現在は、手話の言語・コミュニケーション特性をふまえた効果的なオンライン語学・通訳教育のカリキュラム開発に取り組んでいる。

